



お知らせ

記者発表資料 配布日	平成24年8月1日
---------------	-----------

- 同時発表先：広島市政記者クラブ
広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

「矢口川総合内水対策計画」を策定しました。

太田川水系矢口川流域においては、平成17年および22年に大規模な床上浸水被害が発生するなど、内水による浸水被害が頻発しております。

国土交通省太田川河川事務所、広島県、広島市では昨年8月に「矢口川総合内水対策協議会」を設立し、流域の特性に応じた総合内水対策について検討して参りましたが、このたび対策の目標や具体的内容を記した「矢口川総合内水対策計画」を策定しましたのでお知らせいたします。

今後は総合内水対策事業の早期着手を目指します。

【矢口川総合内水対策計画の概要】

矢口川流域において、国、県、市の役割分担のもと、排水機場の増設による排水能力の増強等の対応を行うことにより、計画規模1/10の降雨に対して床上浸水被害を防止するとともに、地域住民に自助・共助を促すソフト対策を行うことで地域防災力の向上を図ることを目標とする。

<主な対策>

- ・ハード対策：新規排水機場の設置、堆積土砂等の撤去、既存防災調整池の改良 等
- ・ソフト対策：情報表示板による情報提供、土地利用に関するルールづくり 等

なお、本計画は太田川河川事務所ホームページでご確認いただけます。

<問い合わせ先>



太田川
シンボルマーク

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

副所長(技) 田辺 裕和 (たなべ ひろかず)

【担当】 調査設計第一課長 榎谷 有吾 (ますや ゆうご)

082-222-9245 (直通)

〒730-0013 広島市中区八丁堀3-20 電話：082-221-2436(代表)

ホームページURL：http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/